



### ★小枝章〈コエダショウ〉

ビーバースカウトの記章。小枝の形をした茶色の刺繍製で、長さは約4センチ（アイロンプリント）。木の葉章課目の10細目を履修する毎に（木の葉章のシールが10枚になったら）小枝章を1本与えられる。上着の左ポケットのビーバー記章の下に付ける。アイロンプリントになってはいるが、取れやすいので糸で縫いつける方がよい。



⇒「木の葉章」参照

### ★コーターマスター〈Quarter Master〉

野営生活における資材の調達・補給係。QMと略す。研修所、実修所においては資材、教材の調達、補給や主計の役務を行う所員のこと。原義は軍隊用語で「戦場で前線部隊の軍需品、食糧などを供給する機関の将校」のこと。コーターマスターフードはコーターマスターの業務のうち、特に食糧に関する調達・補給の役務を行う。QMFと略す。

### ★コーティング〈Coating〉

キャンプで用いる鍋、釜、ヤカンなどの炊具を使用する前に、クレンザーや洗剤や赤土を練って、まわりに塗っておき、後の洗浄が楽になるようにするための上塗りのこと。炊事の火が直接、炊具に当たらないため鍋の底などが黒くこびりつかず、長持ちする。キャンプにおける一つのアイデアである。

### ★ゴールデンアロー〈Golden Arrow〉

ゴールデンアローはベーデンパウエルがスカウトの兄弟愛と平和のシンボルとして考えついたものである。



1929年の第3回世界ジャンボリーはイギリス・バークンヘッドのアローパーク（450エーカーの公園）で開催されたが、たまたまこの場所が「アロー」と呼ばれていたことからヒントを得て「ゴールデンアロー」の考えがベーデンパウエルの心に浮かんだ。このジャンボリーでベーデンパウエルは戦争の呪いの斧を埋める式を行った。スカウト達は各国入り交じり、大きな車輪のスポーク状に整列し、ベーデンパウエル一人が車輪の中心に立った。「ここに呪いと戦争の斧がある。私は今からそれをアローに埋める。」ベーデンパウエルは、金色の矢（ゴールデンアロー）を描いた木の桶に斧を入れて埋めた。まことに演出100パーセントであった。

さらに、ベーデンパウエルは「諸君は友情の呼び声に応じて世界各国からアローにやって来た。いま故国への出発に当たり、平和と善意の旗印、そしてスカウトの兄